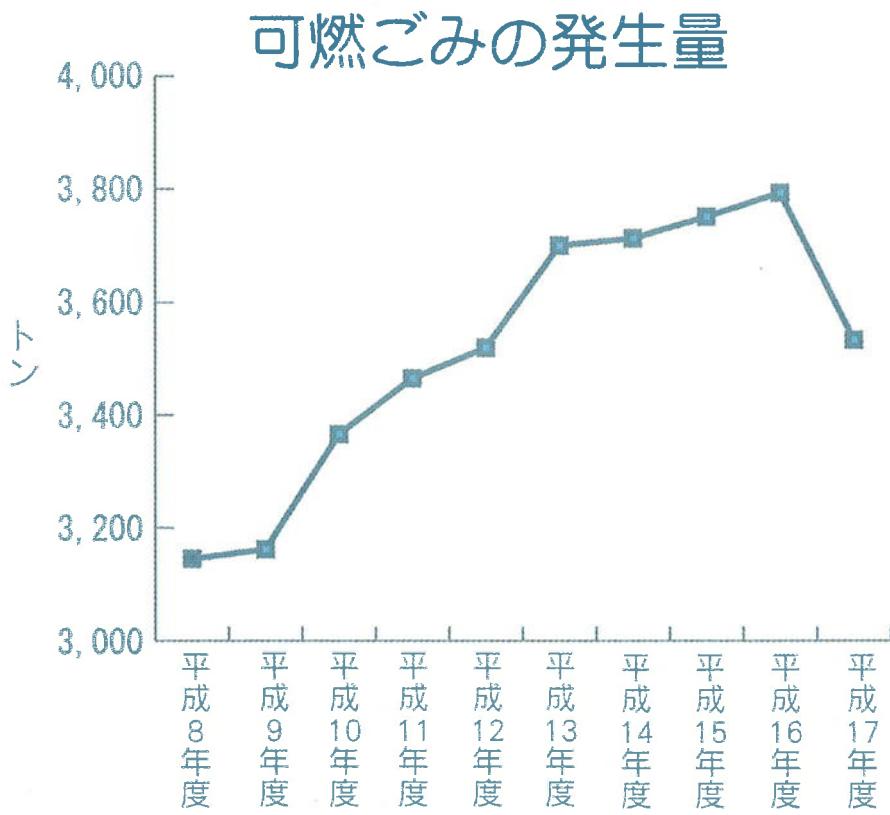


減らそう！ごみ

大山町のごみ事情

平成17年度は、可燃ごみの発生量が減少



大山町では、平成16年度まで可燃ごみの発生量が年々増加を続けていましたが、平成17年度は、前年度に比べて発生量が7.4%減少しました。

これは、3町合併時にごみ袋の制度が変更され、町民一人ひとりのごみ減量に対する意識が高まったためと考えられます。

可燃ごみの適正な処理のために

可燃ごみは、現在、町にある2つの焼却施設で処理しています。しかし、収集ごみが多いときには、境港市に処理を委託する必要があります。町内施設で安定した処理を行うためには、可燃ごみのさらなる減量を進め必要があります。

ごみの発生を減らすためには

○ごみになるものを買わないよう^うにする工夫を
不必要なものは買わないよう^うにする工夫を

○紙切れは古紙類など^うにして、雑誌と一緒にしばつて出しにします。また、買い物には袋を持参して、レジ袋を受け取らないようにするのもごみの減量につながります。

○モノを大事に^う使う
電気製品など、古くなつても使えるものはなるべく長く大事に使いましょう。まだ使えるも

ごみは再び資源としてリサイクルできます。しかし、資源ごみを再び資源にするためには、電気などの膨大なエネルギーが使われています。未来の地球環境を守るためにも、まず、ごみを発生させないための工夫をしましょう。

○生ごみは水をしつかりと切る
紙切れは古紙類など^うにして、雑誌と一緒にしばつて出します。また、雑誌の間にはさんでもOKです。

○日頃から整理整頓を^う
散らかっているものをまとめ^うて片付けようとすると、分別がおろそかになります。資源ごみなどは、日ごろから置場を作つて整理しておくと便利です。

のは、ごみとして捨てないようになります。

まだまだ減らせるごみ

資源ごみも発生抑制を

ごみなどは、日ごろから置場を作つて整理しておくと便利です。